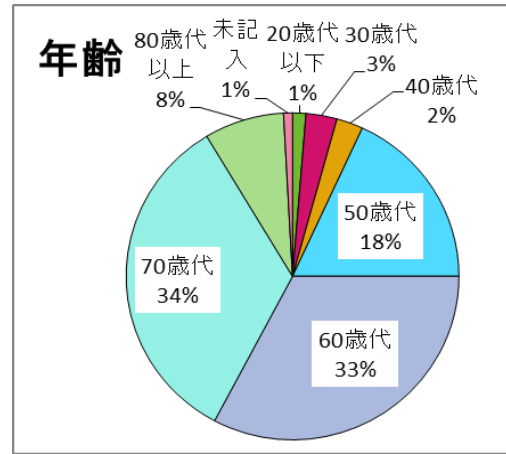


◆在宅医療と介護に関する市民公開講座アンケート集計結果

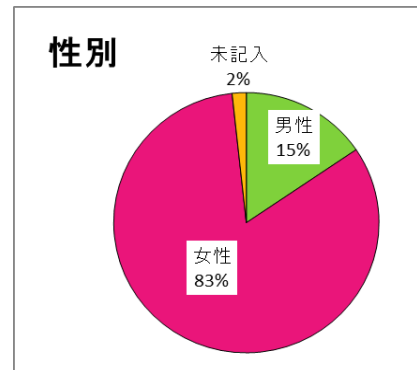
1、年齢

20歳代以下	3
30歳代	7
40歳代	6
50歳代	42
60歳代	76
70歳代	78
80歳代以上	18
未記入	2



2、性別

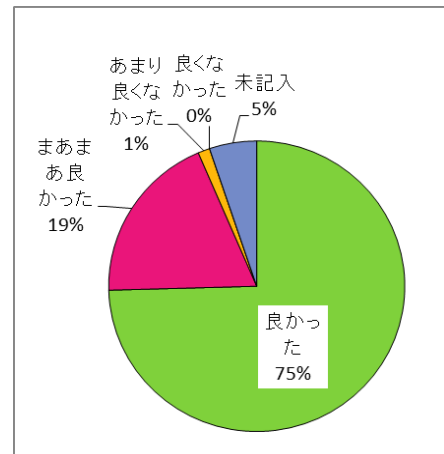
男性	36
女性	192
未記入	4



◆ご感想をお伺いします。

1、基調講演:「母に歌う子守唄～わたしの介護日記～」について

良かった	173
まあまあ良かった	44
あまり良くなかった	3
良くなかった	0
未記入	12



◆理由、感想等

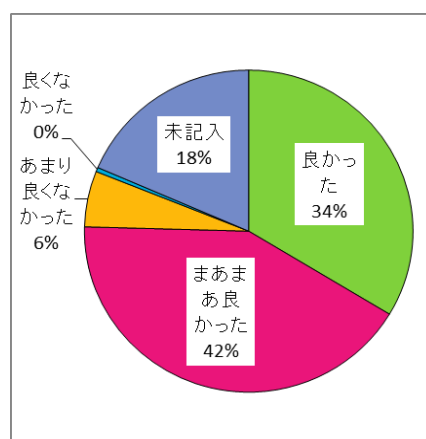
- ・体験者の視点からの具体的な話がよく理解できた。 11
- ・医者任せでなく、納得のいく診断や介護の方法を諦めずに考え、模索して行く大切さを教わった。 5
- ・私たちが日常感じる事、悩む事を的確に話してもらえた。 4
- ・落合恵子さんの語り方がとてもよく、心に響いた。感動した。 4
- ・老後や親の介護の事を身近に考えることができた。 3
- ・分かりやすい言葉で話され、元気をいただいた。 3
- ・介護は誰でも一生の内一度は関わる。
- ・介護の根底には選択の権利が本人にあることを考えさせられた。
- ・かかりつけ医は自分の意志で選ぶこと。
- ・素晴らしい講演だった。落合さんらしい視点で、今回のテーマについてしっかり切り込み、在宅医療や介護を考える上できちんと押さえておくべき点を提起して下さい、基調講演としてふさわしいものだった。
- ・娘と母の介護は胸がいっぱいになった。
- ・著名人に会えたのがよかった。
- ・落合さんの生き様が良く分かった。「母に歌う子守唄」を是非読ませていただきたい。
- ・私も同じ年、アルコール中毒の義父の介護をした。夫も2年前に大腸がんでストーマを付けたが、良い生き方をしてくれた。今一人だが、落合様にお会いできて頑張ろうと思ひ、力を頂き感謝です。ありがとう。
- ・一人娘でよく頑張って介護したものだと感動です。
- ・自分の意思で最後を決めたいと思った。

- ・経験談はとても伝わってくるものがあった。
- ・落合さんらしい講演だった。
- ・在宅ケアを利用したが、もっと便利になればよいと思う。年金で暮らす人はとても困っていると思う。これからも本人を中心に考えて、在宅をすればよい。
- ・落合先生の介護の日々を聞いて、自分たちは受ける側という思いが少し変わった。伝えることの大切さ、あきらめないことの大切さ、すべての人が平等に介護を受けることの当たり前さ、元気をもらった。
- ・介護の真のあり方に気付かされた。話すことのプロの方なので、抑揚を付けた話し方は胸に迫った。また、社会や国に対する自分自身の振る舞いについても今後気を付けようと思った。
- ・さすが自分の経験を自分の言葉で表現する事はすごい！感動しました。
- ・私自身、在宅介護ができず、主人には施設に入所してもらっているが、未だに家で見てあげられたらと思っている。今、私に何が出来るか考えてみたいと思う。
- ・感受性が高い女性が、母の介護をする時にどう思うか良く分かった。
- ・お母様を介護した方だけに、真実の様子に涙するところがありました。
- ・私も姉を在宅看護で見送りました。お話の中の内容は同じ意見のものが沢山あり、同調しました。
- ・病院にかかる時の注意点を聞き、自分と同じ考えだと感じた。自分の最後の希望を言葉にして残しておく事に感銘を受けた。
- ・体験談なので、迫力があり、聞きやすかった。
- ・代弁して下さいありがとうございます。
- ・先生は自分に強い性格だから周りの人々にも助けられたのではないのでしょうか。立派だと思う。
- ・ありのままを話してくれ、気持ちが良い。もっと聞きたい。
- ・介護の体験談を分かりやすく話していただき、これから親の介護の時にどうしたら良いか大変参考になった。
- ・介護は十人十色、みんな違っていいと思う。
- ・落合さんのぶれない生き方に感動した。ずっと髪型が気になっていたが、今日意味が分かった。
- ・声のトーン、話すテンポ、聴く人に響くような配慮、しみ入るようだった。
- ・疑問を気兼ねなく問える医者を探す必要性が分かった。
- ・経験に基づいた大変参考になる講座だった。介護だけでなく政治の分野にまで、広くて優しい語り口に感銘を受けた。
- ・家族によって、様々な考え方・捉え方があることを知った。少し前は胃ろうが当たり前になっていた等。
- ・老後は自分が主役でいたいと思うが、丸々引き受けてくれる方がいるかいないかで人生が変わると思う。
- ・年齢的に近い年なので、共感できた。
- ・落合さんのファンです。お話が聞いてとても良かった。
- ・ラジオのパーソナリティ当時を彷彿とさせる素敵な声と話方だった。大好きです。話の最後に髪型の理由も語ってくれ、不思議に思っていたので、納得した。
- ・今、要介護2の家内と2人で過ごしているが、お話をお聞きし、元気が出てきた。家内の為にしていることが、実は自分のためになっている、思い返してみれば、全くそのとおりでと思った。家内と向き合う時間が長くなり、幸せな日々を過ごしているんだなあと思った。
- ・言葉の引き出しが多くすぐ聞きやすかった。介護する側とされる側は同じ目線で接することが必要と感じた。
- ・落合様の話のように、病院側の立場が強いと感じることがある。患者に提案し、選択できる支援をしてほしい。
- ・自分の人生を考える参考になりました。
- ・介護される側とする側の心情を体験を通して分かりやすくご講演していただいた。その時々疑問や改善点を意見することが大切であると思った。
- ・介護体験から「自分のため」と後々に思われた。介護はいい経験だと思う。そこから学べる事、気づける事が必ずあるから。
- ・自分も母を送った時のことを思い出しながら聞いた。全く同感だったのは「お母さん、あれでよかったのですか？」という一言。年月が経ち、自分も年を重ねてくると、最近よく感じる。
- ・医師と患者は上下の関係でなく、同等である。
- ・私の言いたいことを言って下さり、(私の父の入院、そして在宅介護をした。)スカッとした。認知症の人もプライドがある。医師や看護師がもっと考えてほしい。
- ・言葉がはっきりして分かりやすかった。
- ・「お金を持っていようがいまいが、平等に人生の最後を過ごせる世の中になるべき」と言う言葉が心に響いた。
- ・それぞれの介護でいいんだよ！と元気づけられた。
- ・市民(個人ひとりひとり)の目線で広い範囲の話をしてくれ、とても納得できる話だった。
- ・自分が納得するまで疑問を解決する気持ちは大切だと思う。
- ・胃ろうの件は難しい。元気なうちに子供に伝えたい。
- ・医師が言った病気に対して不安があった時にセカンドオピニオンを受けたり、もう一度納得いく診察を受けたことに感動した。
- ・「うん、うん」と同感することばかり。前を向いて歩く、これからの未来に希望を失いつつあったが勇気が湧いてきた。
- ・思い詰めず、考え方を切り替える受け止め方。
- ・最近の親子関係、寿命100年時代かと思われるこの時代、日ごろから家族に話をしているが、延命治療についての意思是元気なうちにしっかりしておかなければと思う。
- ・権威におもねることなく、感じたことを発言されていることに感銘を受けた。
- ・三人姉妹で姉が独居。介護について、私としては姉の思いに出来るだけ寄り添いたいが、妹と意見が違い、苦しんでいる。
- ・実体験に基づく話を聞いた。「〇歳まで生きたからもういいだろう」と言われた患者家族の気持ちを考えたこともなかった。これからの業務の在り方を考えるきっかけになった。
- ・介護者の本音、思いがよく伝わってきた。医療や介護において、選択する自由が現状では当事者に充分与えられていないことに葛藤していたので、同じ想いを述べてもらえて嬉しかった。
- ・自分も親の介護をしたが、気付かなかった事が沢山あり、早くにこのようなお話を聞きたかった。
- ・介護に対する切なさ、怒り等共感できた。

- ・実体験に基づくもので説得力あり。また、落合氏の姿勢にも共感できる。
- ・漠然と病名を受け入れないで、何か別に…と探し求めたこと、それに対して全て受け止めた姿に深い愛を感じた。
- ・以前脳血管認知症の祖母を家族で介護した時に、主治医に理解してもらえなかったことがあり、とても共感した。祖母のように在宅介護された人は幸せなのかもしれないが、世間の認知症に対する目はまだまだ冷たいなど感じる。しかし、介護者として、今でも家族で当時の苦労や苦悩も語るが、最後はやっぱり楽しかったね。と話し合えることは、とても良い経験だったと思う。
- ・現実の医療・介護の状況がよく分かった。介護は介護人のために実施していることを教えてもらった。
- ・両親が施設、病院で10年以上お世話になりました。私は離れて生活していたので、大変さも分からないままだった。次は自分の番だと思うと、健康で居る事が目標。
- ・介護職はとてもしんどい毎日です。手を抜いたケアはしていない。在宅はもっとしんどいと思う。
- ・介護は介護の人の為でなく、自分の為なのである。
- ・介護以外にも通じる話だったので、現時点で介護に携わっていない私でも共感でき、考えさせられるものだった。まず、我々がどう感じ、どう考えるか、そしてどう声をあげるか、私たちの生活する社会を私たちがどう形成していくか考えなければと思う。
- ・患者目線での話が良かった。選択権は患者側にあるとの話がそのとおりだと思った。しかし、多くは医療に関する知識がないため、説明されるがままなのが実情ではと思う。
- ・患者サイドに立った医療についての話は参考・賛同できる部分が多かった。
- ・私自身も今母を介護中です。エールになった。
- ・先生ご自身の体験により、感じたこと、他の医師へのセカンドオピニオン等の活用等よく理解でき、とても有意義なお話だった。ありがとうございました。
- ・自分自身の信念を貫いている落合さんは素晴らしい。泣き寝入りしない自分でありたいと思った。
- ・介護している自分の支えになった。
- ・私も父親を介護して看取った。落合さんの話を聞いてその頃の気持ちを思い出して涙がでた。主役は自分自身だということに同感。
- ・ありがちな建前ではなく、本音を語って下さる姿勢が心地よく、何かヒントが見つかりそうな講演だった。
- ・介護のあり方、理想は良く分かったが、現実と理想にはかなりの温度差があると思う。
- ・厳しい意見、理想の持ち主であることは十分理解できますが、現実的には、一般人としては非力すぎて、それに基づき行動することは極めて困難だと思う。
- ・介護制度が次から次へと変わり、地域の社会福祉関係者も戸惑っている。
- ・国の政策によって、医療が決められる世の中、疑問。
- ・在宅は理想であって、なかなか現実には難しいと思う。何をしたらよいのかがわからない。
- ・もう少し困った事の話が聞きたかった。
- ・時間が短く、もう少し深い話が聞けると良かった。

2、パネルディスカッション:「かかりつけ医を持つために」について

良かった	78
まあまあ良かった	97
あまり良くなかった	13
良くなかった	1
未記入	43



◆理由、感想等

- ・かかりつけ医の重要性を再認識させられた。かかりつけ医を見つけておくよう心がけなくてはと思った。 13
- ・落合さんの名医より良医の話に納得した。 3
- ・それぞれの立場の方々の話が聞けて良かった。 3
- ・病気になれば入院のみでなく、在宅医療という道がある事がわかり良かった。その為にかかりつけ医を探しておきたい。
- ・ドクターの方の生の声が伺えて良かった。
- ・かかりつけ医は近所のお医者さんが良いが、なんでも相談できるかわからない。
- ・必要な時が来ないと、なかなか持てないと思う。啓発は必要。
- ・30年前から主治医になんでも相談できている。最近でも経過を見ていただき、ペースメーカーを付けて命びろいをしている。
- ・在宅で夫を亡くした後、その先生が、かかりつけ医になっていただき10年になる。何の時も安心して通っている。
- ・家族と一緒に泣いてくださるお医者さんを探したい。
- ・若い時から長い時間をかけて、かかりつけ医を作っていく。かかりつけ医になっていただくものだと分かった。
- ・医師とのコミュニケーションは大事だと思う。私も名医だけでなく良医の先生に出会いたい。

- ・最後の時に医師、家族に望む事を書いておく必要性が分かった。
- ・最後の看取りについて真剣に考えたり、口に出してしまうことが恐かったが、少し心が軽くなった。
- ・近所にかかりつけ医になってくれる人がいるか不安。
- ・身近な話題でよかった。
- ・ケアマネや落合さんの発言が心に響いた。たとえが分かりやすかった。
- ・近所のいくつかの医療機関を受診したが、信頼できる医者がない。新しい病院に行ってみようと思うが、大きな病院にかかりたい気持ちも捨てられない。
- ・患者と一人ひとりに向き合っていく医者が良医との言葉に感動した。
- ・私は内科医と呼吸器医2つのかかりつけ医をもっているが、それはどうなのかなと思う。
- ・どの先生が良い医師か分からない方が多いのでは。投薬ばかりで生活習慣の改善策等を指導してくれる医師は少ない。
- ・地域医療の現状について分かった。
- ・私と家内のかかりつけ医は夫婦で診療所を開業しておられ、病状によっては、お二人で診てくださることがある。とても丁寧で、今まで何度も病状によっては紹介状を書いていただき、専門医に診て頂くことができた。一言一言パネリストのお話を納得しながら聞かせていただいた。すばらしい講演に出席できて良かった。
- ・かかりつけ医と連携を持ち、その人らしい終末を迎えていきたい。常に相談にのってもらいたいと思う。
- ・かかりつけ医の先生にも参加して欲しかった。
- ・かかりつけ医は身近な存在。医療だけでなく、いろんな相談ができる窓口であってほしいと思う。
- ・かかりつけ医は以前から言われていると思う。自分の事を分かってくれる安心感がこの先は必要。
- ・今まであまり病気にかかっていないので、かかりつけ医を決めるのが大切だと思ったが、難しいなとも思う。
- ・人間的に温かみのある、誠実な医師を探すことから始めたいと思う。
- ・忙しいかかりつけ医にいろいろ頼むことは難しいと思う。
- ・かかりつけ医の決め方が分からない。父のかかりつけ医と思っていた医者から、「年に1回くらいの診療で私はあなたのかかりつけ医でない」と先月言われたばかり。
- ・始まったばかりで何とも言えない。
- ・かかりつけ医について、詳細の説明があり、良く分かった。
- ・上から目線の医師に患者は気を遣い、本心、聞きたいことをた尋ねにくい。どう接していいか悩む。
- ・セカンドオピニオンも大切だと思った。
- ・かかりつけ医を持っている。その先生は条件にかなっている方と尊敬の念を持っている。
- ・参考にできることが沢山あった。
- ・かかりつけ医だけでなく、介護士に関する話を話題にあげてくれた。落合さんに共感した。
- ・現在通院している病院の先生を信頼(今まで以上に)して相談を行うようにしたいと思った。
- ・地域医療、終末医療の大変さを感じた。
- ・各々の要点を押さえた発言。落合氏の言う良医が医療界に増えてほしい。
- ・私には少し難しくも思っていたが、先生方の話を聞いて、かかりつけ医の大切さがよく分かった。
- ・各専門職目線の意見が参考になった。
- ・落合さんのリビングウイルについての実践は共感できる。
- ・仕組みや実態を分かりやすくディスカッションしていただいた。
- ・我が身の事としてとらえる時期(年齢)になってると気づかされた。
- ・私の祖母は最終的に中規模の病院で亡くなったが、入院するまでは近くのかかりつけ医の先生に大変良くしてもらった。受診させるのは要介護4だった為非常に苦労したので、個人的には、在宅診療をしてくれる病院が増えると良いと思う。
- ・制度を理解して、その都度対応すること。
- ・かかりつけ医制度への関心が低いと思う。かかりつけ医の技量が心配→誤診は命取りとなる→名医より良医の養成が必要か？終末ケアに対応してもらえるのか？
- ・かかりつけ医について良く分かった。通院しないとかかりつけ医は持てないと思っていた。良医、お医者様も人間、信頼できるお医者様、何でも話せる先生であって欲しいと願っている。
- ・かかりつけ医、パネルで分かりやすく説明してくれた。
- ・かかりつけ医について考える時間をもっと持ちたい。
- ・かかりつけ医の必要性等はよく理解できた。年1回の健診やがん検診などにかかりつけ医を利用する等、メリットについての話をもっとあれば良かった。
- ・医療に対する不満を持つ患者・家族が多く、医師サイドとのギャップはまだ大きいように思う。
- ・落合恵子さんの話の中での良い医者に巡り合いたい。
- ・かかりつけ医師にお世話になっているが、落合先生のおっしゃった良い先生で安心した。
- ・医師や看護職の必要性、制度面について分かりやすく説明があり、身近な知識を得られて大変参考になった。
- ・介護をめぐる悲劇がいろいろある中、介護者と介護される人との関係、経済状態、その他色々の条件が関わり、必ずしもすべてうまく在宅介護が出来るとは思えない。
- ・なんでも相談できるかかりつけ医が実際におられるか疑問。忙しい医師に相談することは不可能。医師も経営的手腕が問われる今日の社会情勢も背景にあると思う。
- ・心と心が響き合えるかかりつけ医を見つけるのは難しいが、努めなければと思う。
- ・落合様の力強い発言が何かを動かしてくれるような気がした。本気で進行していく事を望む。

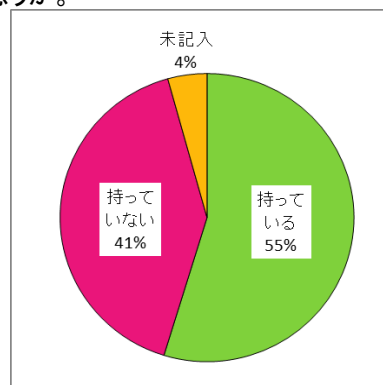
◆要望、意見等

- ・制度の説明に時間がかかった。もう少し議論に時間が取れるとよかったと思う。 9
- ・パネリストのご意見をもう少し聞きたかった。 3
- ・照明が暗く、スクリーンが全然見えなかった。 3

- ・もう少し具体例の説明が欲しかった。
- ・分かりにくい話だった。かかりつけ医と主治医との違い、説明があってもメモもできないし、良く分からなかった。分かっている人には分かるが、初めての人には分かりにくかった。
- ・手話の方が大きなお花の影になり、全く見えていなかった。私は耳が聞こえるのでよいが、立ち位置(お花の場所)をもう少し考えるべき。
- ・子供が小さい頃や、ある程度の年齢になるとかかりつけ医がいると思うが、若いうちはなかなかかかりつけ医を見つけることが難しい。どのようにかかりつけ医を見つけたら良いのか知りたい。
- ・「耳鼻科」や「眼科」の先生でも良いのか? 「内科」の先生が一般的のように思うが。

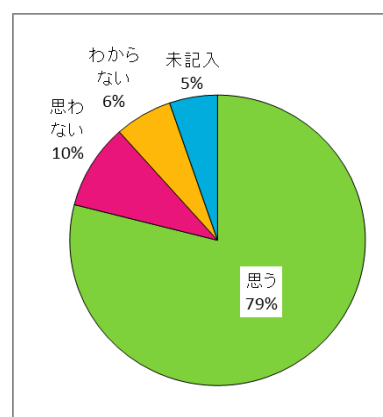
☆現在、かかりつけ医を持っていますか?

持っている	127
持っていない	95
未記入	10



「持っていない」と回答した方にお聞きします。本日市民公開講座に参加して、かかりつけ医を持ちたいと思うようになりましたか?

思う	75
思わない	9
わからない	6
未記入	5



◆在宅医療や介護を利用できる体制づくりのために何が必要だと思いますか?

- ・市民向けの啓発(広報への掲載、公開講座の開催等)の充実。 16
- ・地域の繋がりを大切にし、近所同士で助け合える体制づくり。 10
- ・医師の育成。在宅医療を理解し、診療できる体制づくりの確保。 7
- ・在宅医療を実施する機関の充実。インフラの準備。 7
- ・医療・介護人材の充実と手厚い待遇 6
- ・本人又は家族の選択肢の拡大。 2
- ・日頃から老々介護になった時にどうしたらよいか、ちゃんと話し合い、自分の意見を伝えておきたい。 2
- ・(認定を受けるにあたって)介護を受けること、在宅においての必要性、手続きの情報等興味がないと知らないことが多い。若い世代にも職場や地域でこのように情報を知らせて欲しい。 2
- ・在宅医療のできるドクターの情報の充実。
- ・在宅医療連携会議の充実、市民講座を増やす。
- ・介護保険制度の改悪に歯止めをかけること。医療や介護の分野に手厚い財政を。
- ・開業医の啓発や保険点数の追加。
- ・ホスピスを増やしてほしい。医師はパソコンに向き合わず人に向き合って欲しい。
- ・地域住民の交流・協力が大切だと思う。周りの人が介護の状況を理解していれば、手助けができたり、話を聞いてあげたりできる。話すのが楽しくなり、また頑張れると思う。
- ・在宅医療や介護を受けたり、入院又老人ホーム等選べる様にしてほしい。
- ・訪問診療をして頂ける先生が増えることを望む。本当に相談にのっていただける先生が少ない。
- ・地域包括支援センター職員によっては、親身になって相談対応をしてほしい。事務処理的なところがある。
- ・家族だけでは介護しきれないので、訪問ヘルパーさんの増員、充実。
- ・介護になった場合に、その制度を活用できる手続きについて、医療機関から患者に情報提供をお願いできたら良いと思う。
- ・かかりつけ医の役割が果たせる、病院・医師が身近なところが必要。
- ・自分がどういう介護をされたいのか考えると、やはり家で介護を受けたい。皆で集まれる居場所みたいなのがあればいいなと思った。生活となると今から近所の方々人間関係を築いていないと難しいですね。
- ・死ぬまで自宅で元気に暮らしたいと思い、筋肉が衰えないように運動したり、認知症予防に励んでいる。自宅で過ごす為には居・食・住のサポートと医療のサポートが必要だと思う。

- ・病院によって先生の対応が違う。かかりつけ医の研修を広めてほしい。
- ・職種・施設の形にとらわれず、連携・協働していくこと。それぞれの立場を把握し、敬うこと。
- ・相談窓口でたらい回しにならないようなシステム作りが必要だと思う。
- ・介護の事業所間のネットワークを緊密にとり、介護を受ける側が戸惑う事のない様な方向づけを強く望む。
- ・生きていくための安心感、介護者・医療者の達成感や充実感が持てるシステムづくり。
- ・個人医院の先生が全員訪問診療・往診してもらえることを希望する。
- ・医療者の質、介護される人の質、家族の質が重要。全ての人に共通するのは命の尊厳だと思う。
- ・在宅看護や介護の職員(現場で働くナースやヘルパー)の給与や待遇を良くすることで人材確保し、良質(人柄や技術)な人材を育てないとダメだと思う。一看護師としての切なる叫びです。
- ・いろんなサービスが充実しないと、在宅は無理では？
- ・夜間のことが気になる。
- ・医療に関わる人全てが高齢者医療や介護や介護する人の立場を十分に理解しているとは思えない。
- ・医療側に「老人」だから認知機能が落ちていると勝手に判断する人が多いことに驚いた。医療者に対し、啓発活動が必要と思う。
- ・本人も先生もお互いに心を通わすように努力すると信頼関係ができると思う。
- ・高齢者が元気で生きがいを持ち、住み慣れた地域で生活する為に、ボランティア、有料ボランティア等、どんどん提案すべきだと思う。個人NOカードを利用したボランティア等貢献した場合にポイントをつけ、要介護になった時に利用できる制度も有効と思う。
- ・落合先生の思う良医を見つけていきたい。
- ・今日の会がとても良かった。これからは期待される。
- ・フォーマル、インフォーマルサービスのスムーズな連携。
- ・本人、家族は医師へ遠慮がある。介護職、看護師の意見をさげすむ医師が多いこと。医師の意識を変えなくては体制づくりは難しいと思う。
- ・ボランティアの充実、組織化を行う。
- ・利用者の適切な費用負担を前提とした、充実した制度の構築を望む。
- ・地域包括ケアシステムは理解するが、機能する(させる)ためには、自助・共助・公助の有機的努力が相当必要とされる。
- ・かかりつけ医師、看護師、その他(ケアマネジャー、ヘルパー)の連携、地域の人との交流の充実。チームプレイで心ある温かい医療を願う。
- ・介護に従事する人の給料を引き上げることから始める必要があると思う。また、労働時間についても改善し、介護士等の人数を確保することが重要だと思う。
- ・在宅医療を実施している、かかりつけ医になってもらえる地域のクリニック医院等のリストがほしい。
- ・今日は講座参加して本当に良かったと思っています。ありがとうございました。
- ・在宅医療で不安な際に相談できる場所(コールセンター的な)ところがあると助かる。
- ・もっと多くの人々が、かかりつけ医を持つことの意義が理解できるようになれば良いと思う。